

境川金森調節池工事説明会の議事要旨

1 開催概要

日 時	平成30年12月5日（水曜日）午後7時00分～午後8時30分
場 所	大和市公所自治会館
参加者数	11名

2 主なご質問・ご意見と回答（要旨）

※複数の方から頂いた同様の質問については、集約して記載しています。ご了承願います。

(1) 工事全般について

ご質問・ご意見	回答																				
ダンプカーなど大型車の搬出入ルートでは都道56号や国道16号を通行することになっているが、どちら方面に向かって行くのか。	<p>国道16号から入って土を積込み、また国道16号線に出ていき、積込んだ土砂は八王子方面に運搬する予定です。</p> <p>ダンプは国道16号から進入し、右岸側から入って積込し、左岸側から出ていきます。積み込んだダンプは都道56号を通過して国道16号で八王子まで運搬する予定です。</p>																				
国道16号へは、県道56号ではなく、新しく出来た道（鶴間町谷通り）を通ればよいのではないか。	豆腐屋のある交差点（鶴間橋北交差点）で交通事故があり、極力工事車両は通らないでほしいと地元や地元小学校の先生から要望があったため、今のルートを計画しました。																				
広い道路ではないし子供の通学路になっているため、出来たら町田側を通過して国道16号に出てもらったほうがいい。	再度ガードマンの配置を検討いたします。本日頂いたご意見を参考に子供たちに不安を与えないようにしたいと思います。																				
工事車両の出入りはどのくらいの頻度であるのか。	<p>具体的な工事車両の通行台数は、次の通りです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">準備工</td> <td style="width: 35%;">資材トラック</td> <td style="width: 20%;">1日20台程度の往復</td> <td style="width: 30%;">1時間当たり2～3台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10トンダンプ</td> <td>1日20台程度の往復</td> <td>1時間当たり2～3台</td> </tr> <tr> <td>仮設工</td> <td>資材トラック</td> <td>1日20台程度の往復</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>10トンダンプ</td> <td>1日40台程度の往復</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ミキサー車</td> <td>1日20台程度の往復</td> <td></td> </tr> </table>	準備工	資材トラック	1日20台程度の往復	1時間当たり2～3台		10トンダンプ	1日20台程度の往復	1時間当たり2～3台	仮設工	資材トラック	1日20台程度の往復			10トンダンプ	1日40台程度の往復			ミキサー車	1日20台程度の往復	
準備工	資材トラック	1日20台程度の往復	1時間当たり2～3台																		
	10トンダンプ	1日20台程度の往復	1時間当たり2～3台																		
仮設工	資材トラック	1日20台程度の往復																			
	10トンダンプ	1日40台程度の往復																			
	ミキサー車	1日20台程度の往復																			
通勤車両は8時前に入場とあるが、その車両はどこに駐車するのか。	当面の間、通勤車両はグラウンド内に駐車予定です。																				
子供たちは8時に学校に着くよう自宅を出るため、子供の通学時間と通勤車両が重なってしまうのではないか	<p>学校へのヒアリングや交通量調査を実施したところ、午前8時～9時が一番交通量が多い結果が出たため、この時間帯を避ける形として通勤車両は午前8時前に工事現場に入場する形で考えています。</p> <p>（以下、追記）</p> <p>7：30～7：40の小学生の登校が集中する時間は通勤を避けるように指導します。</p>																				
鶴間橋付近の大和市側の迂回路は2台のすれ違いが困難な狭い箇所もあり、交通量があると非常に危険だと思う。	サイクリングコースと言われる河川管理用通路は、歩行者と自転車のみで車両の通行はないため、迂回して頂くのは、歩行者と自転車となりえます。																				

ご質問・ご意見	回答
<p>国道16号に出る最短のルートではなく、異なるルートになっているのはなぜか。</p>	<p>特定の地域だけに負担が掛かることを回避するため、様々な制約を受けたなかでも大型工事用車両が通行できるルートを検討した結果、ルート①②③を併用し分散することを考えています。</p>
<p>井戸水と地下水の調査を行う半径500mの範囲内に家がある。地下水の水位が下がった時の地盤沈下の懸念と、水質汚染があったときどのように対処するのか。</p>	<p>工事による影響があった場合に確認できるように予め周辺の井戸を調査しており、周辺500mの範囲に影響が出るということではありません。</p> <p>本工事の土留工法は、地中連続壁工法といってコンクリートの壁を造成した後、掘削していく工法であり、水を汲み上げる工法では無いため、周辺への地盤沈下の影響や水質汚染は無いと想定しています。</p> <p>万が一、工事の影響があった場合、金銭補償という形で賠償します。</p>
<p>仮橋が作られる時に階段しか通れないと説明があったが、自転車が通れるように工夫してくれるのか。</p>	<p>パイプコンベヤの設置後、西田橋、高木橋については、歩行者用の階段を設置するため、自転車は通れなくなります。</p> <p>仮設歩道橋については、自転車が通れる構造となっています。</p>
<p>パイプコンベヤの騒音はどの程度か。</p>	<p>パイプコンベヤの騒音については、現在の川沿いの暗騒音である約50dbと同等程度の音の発生を想定しています。更に騒音を抑えるため、パイプコンベヤを防音パネルで囲む計画としています。</p>

<問い合わせ先>

○調節池の工事等に関すること 東京都南多摩東部建設事務所工事課 TEL042-720-8676

※説明会時配布資料等は、東京都南多摩東部建設事務所ホームページに掲載しています。

(URL : <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/nantou/kouji/kasen-seibi.html>)

○調節池の施工等に関すること 安藤ハザマ・東鉄・松尾建設共同企業体 TEL042-850-6631

※工事に関するお知らせは、安藤ハザマ・東鉄・松尾建設共同企業体ホームページに掲載しています。

(URL : <http://www.jp/kanamori-tyosetsu/index.htm>)

